

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	玄関の鍵を閉めていることが多い。	玄関の鍵は、必要時以外は、開けて置く。	スタッフが入浴等で目が行き届かない時などは、時間を決めて鍵を閉める事もあるが、通常は鍵はかけない。	3ヶ月
2	33	グループホームに看護師がいない。	医療連携にて、医療サービスをアップする。	訪問看護ステーションと契約することで、24時間オンコールが可能となり、スタッフの精神的負担が軽くなる。又医療の質の向上になる。	3ヶ月
3	13	一人一人の利用者さんの認知症・身体障害の特性に沿って介護をしていますが、より個人を見つめる。	利用者さん一人一人への対応を、今も笑顔の多いスタッフ対応だが、日々スタッフと利用者様と言う身近な存在を大切に思い「慈愛」の笑顔や対応をする。	スタッフ会議で利用者様一人一人の人生の歴史を振り返る・利用者様の日々の認知症・身体障害の変化を全スタッフで理解共有し利用者様への愛情の思いを強くする。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。